

資料(テーマ:教育)  
・教育組織の改編について

鶴原 清志

## 1. 教育組織の改編について（学生教育、学生支援等）

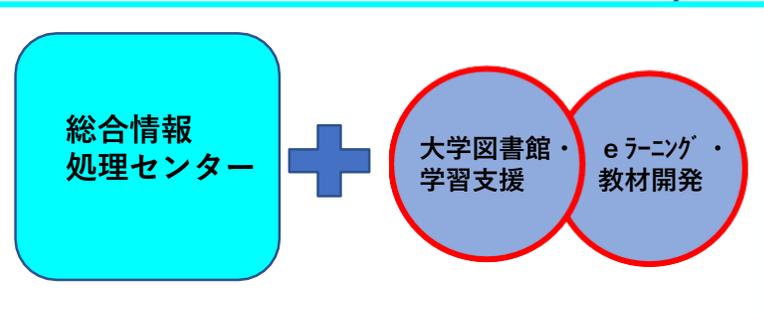
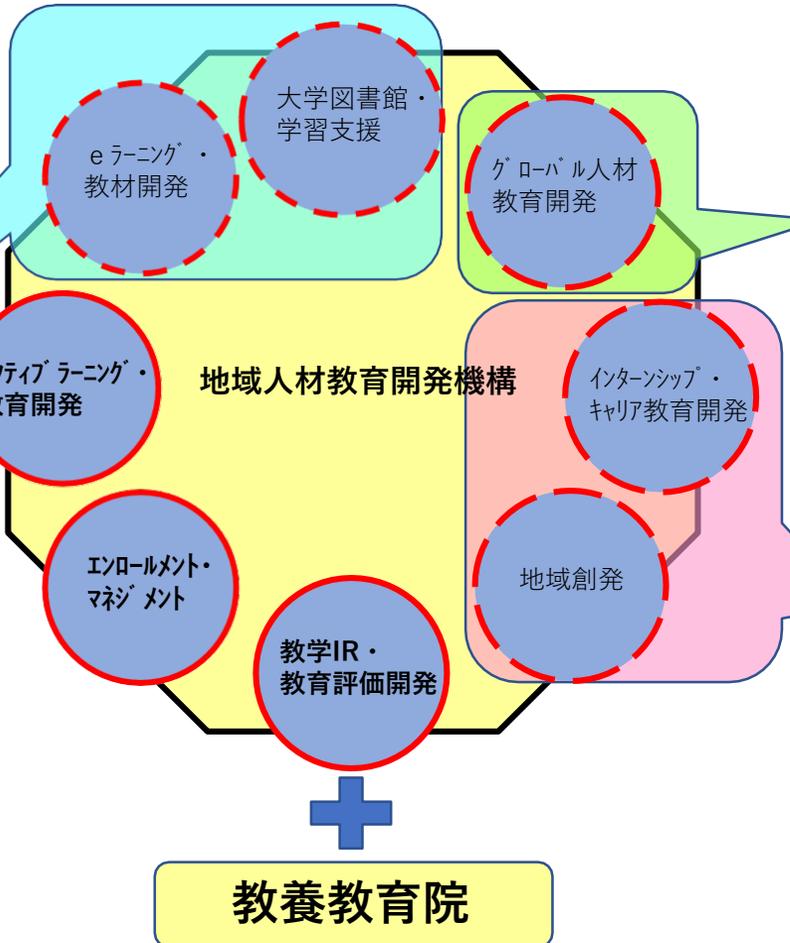
全学教育実施体制の  
機能強化に向けた見直しと  
組織再編について

## 全学教育実施体制の機能強化に向けた見直しと組織再編について

三重大学としての高等教育の開発とデザイン、教育実践とその質保証に関わる評価とIR機能を拡充・推進するとともに、全学共通教育の全体構成や内容編成、さらには全学共通教育と学部専門教育との関係性や連続性、独自性などを究明するため、「地域人材教育開発機構」と「教養教育院」を発展的に再編統合し、教育担当理事の所掌する「三重大学高等教育デザイン・推進機構」を立ち上げる。また、「学生総合支援センター」を「学生総合支援機構」に改組するとともに、「eラーニング・教材開発部門」を「情報教育・研究機構」に組織改編する。

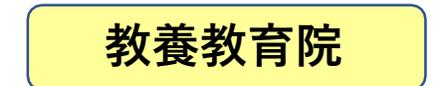
# 3 機構の新設

地域人材教育開発機構の8部門を発展的に再編統合し、教育体制の機能強化を図る



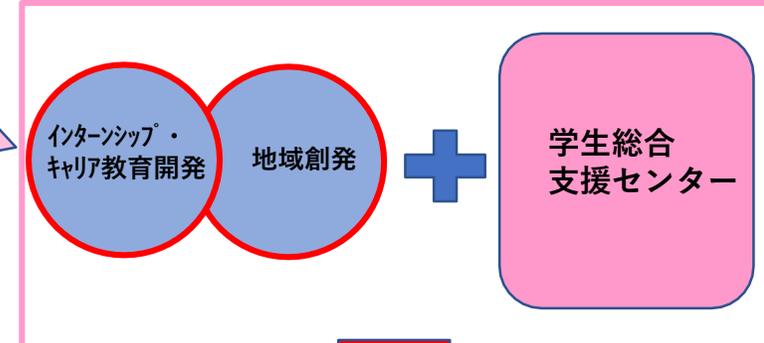
## 情報教育・研究機構

- ・総合情報処理センター
- ・情報ライブラリーセンター
- ・データサイエンス教育センター



## 高等教育デザイン・推進機構

- ・全学共通教育センター
- ・全学資格プログラムセンター
- ・高等教育開発デザイン・IRセンター
- ・アドミッションセンター



## 学生総合支援機構

- ・修学支援センター
- ・キャリアセンター
- ・学生活動センター
- ・学生相談センター
- ・障がい学生支援センター

## 第4期に向けての三重大学の課題

- ①「教学マネジメント指針」の完全履行
- ②全学教育の質保証と可視化、教学IRの強化
- ③高等教育のPDCAサイクルの拠点の実質化
- ④高度知識集約社会、Society5.0を見据えた人材の育成  
(リテラシーやコンピテンシー)
- ⑤SDGs (環境・エネルギー)、数理データサイエンス教育、  
コンプライアンス教育、消費者教育、公共の観念や市民性の育成、生  
命倫理、ダイバーシティ、LGBTQ+等々新たな課題への取組・対応
- ⑥文理融合・学部横断、主専攻・副専攻、STEAM教育、学事暦の多様化  
(ギャップイヤー)、グローバル化 (英語) 等々の課題への取組・対応

# 三重大学高等教育デザイン・推進機構

# 三重大学高等教育デザイン・推進機構の役割・機能

サポート

デザイン

ファシリテイト

## 三重大学高等教育デザイン・推進機構

コンサルテーション

カスタマイズ機能

三重大学としての高等教育の開発とデザイン、教育実践とその質保証に関わる評価とIR機能を拡充・推進する拠点組織

### 高等教育デザイン・IRセンター

- 高等教育の創造開発・デザイン、実施・推進
- 教育評価の開発、教学IRの開発と機能強化
- エンrollment・マネジメントの構想・推進
- 教育に関する年報の発行

### 全学共通教育センター

- 初年次教育
- 高年次教養教育
- キャリア教育
- 教養教育カリキュラム
- データサイエンス教育

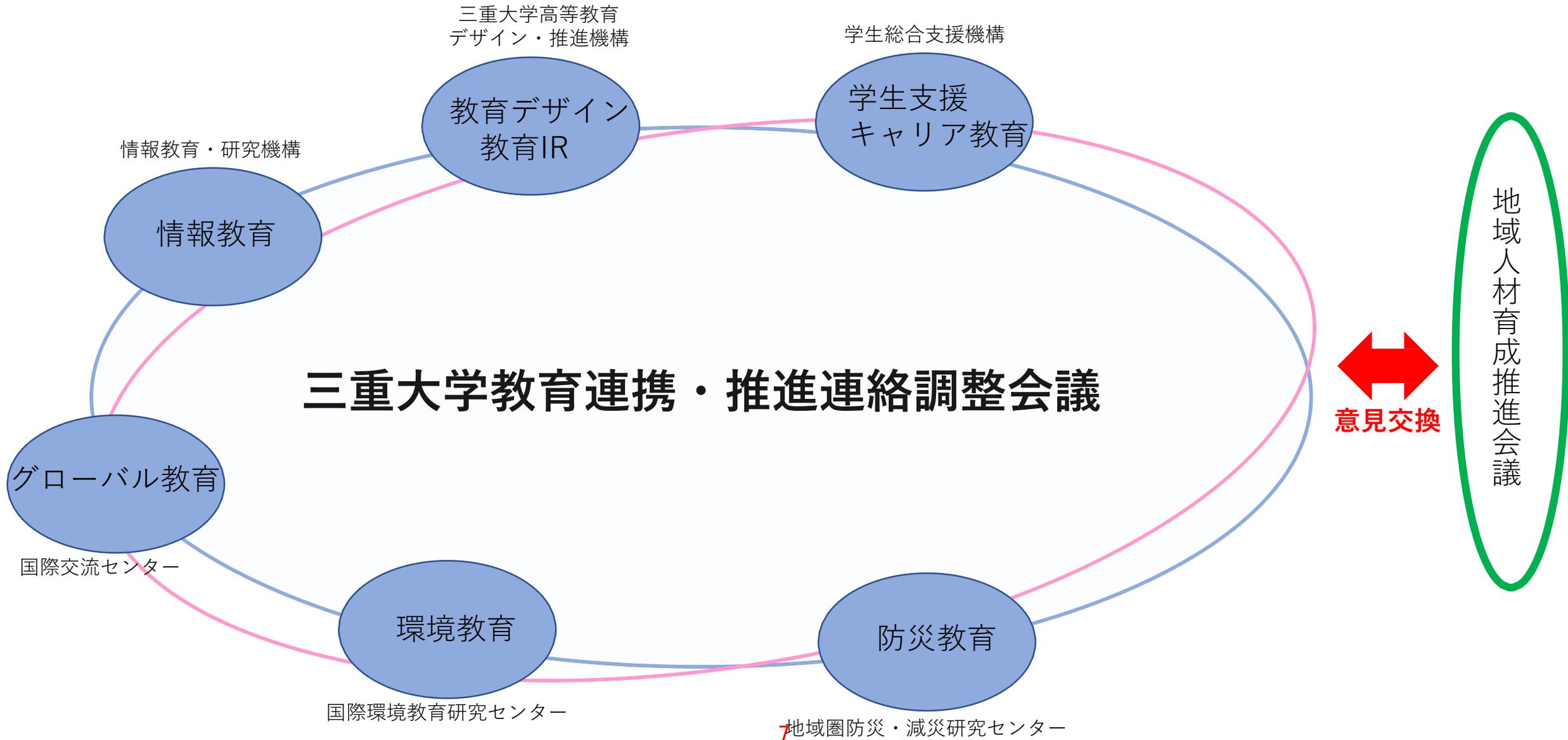
### アドミッションセンター

- エンrollment・マネジメントの構想・推進
- 入試動向に係るIR分析
- 入試成績と学部成績に係るIR分析
- 入試広報戦術の開発
- 高大接続事業の開発

### 全学資格プログラムセンター

- 教員養成課程の展開
- 学芸員養成課程の展開
- 教員免許状更新講習

学内にある【教育】の連携、外部との情報共有



# 学生総合支援機構の役割と課題

三重大学  
学生総合  
支援機構

1  
修学支援  
センター

5  
キャリア  
センター

2  
学生活動  
センター

3  
学生相談  
センター

4  
障がい学生  
支援センター

# なぜ今、学生支援を強化する必要があるのか？

## 1. 大学を取り巻く環境変化

- ・大学設置基準改訂(2011年)後の大学の課題
- ・教学マネジメント指針(2020年)

## 2. 学生を取り巻く環境変化

- ・コロナ禍等による経済的問題の深刻化
- ・社会および雇用環境の変化

## 3. 発達段階をふまえた学生への支援の必要性

- ・大学入学後のキャリア発達を促すことの重要性

# 三重大学生の現状と課題

- 1. 経済的に困窮している学生数は？** **約900～1000人**  
修学支援センター：授業料・入学金免除、各種奨学金、学生寮、臨時給付金 etc.
- 2. 課外活動に参加している学生数は？** **2019年度4659名**  
学生活動センター：課外活動、大学祭、ボランティア活動、ピアサポート活動 etc.
- 3. なんでも相談室への来談者数は？** **全国平均の1.48倍**  
学生相談センター：学生なんでも相談、ケース対応に伴う部局との連携・協働 etc.
- 4. 年々増加する障がい学生数の実態は？** **全学で52名**  
障がい学生支援センター：障がい学生相談、障がい学生支援調整会議開催 etc.
- 5. 全国トップレベルの就職率の実態は？** **2020年3月卒99.0%**  
キャリアセンター：キャリア教育、インターンシップ、就職支援、地域人材育成etc.

# 学生総合支援機構の将来像

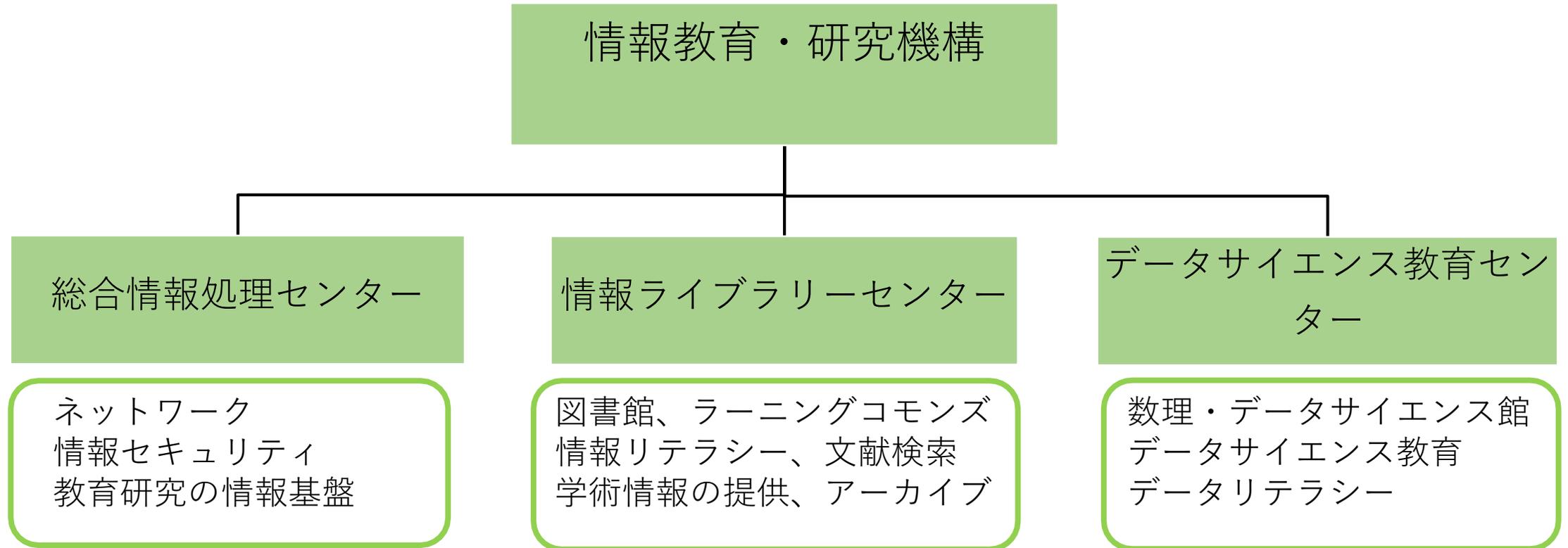
1. **学生支援の基本方針に基づき、全学を挙げて取り組みを行う体制の確立**
  - ⇒その前提としての三重大学における学生支援方針等の周知徹底
  - ⇒学生支援に関する全教職員および学生の意識変革の徹底
2. **学生を取り巻く環境変化に適応し、教育的な観点からの学生支援を実施**
  - ⇒学生支援に資する教育プログラムの開発
  - ⇒コロナ禍で顕著となった学生の行動様式への教育的対応
3. **各センター業務が一部の専門教職員と兼務教員で遂行できる体制の構築**
  - ⇒業務内容の標準化および可視化
  - ⇒必要となる専門人材(キャリア教育および相談業務)の育成・確保
4. **学生支援関連の会議の簡素化および効率化**
  - ⇒センターでの打ち合わせを踏まえた機構の運営会議の充実
  - ⇒重要事項の学生委員会での審議・報告 \* 周知事項のメール等の活用
5. **その他:学生支援関連予算の確保**
  - ⇒課外活動施設の老朽化への対応は急務

# 三重大学情報教育・研究機構

# 三重大学情報教育・研究機構

## 【設置目的】

情報教育・研究機構は、各部局等と連携・協働し、三重大学の情報に係る教育及び研究の推進を  
するとともに、学術情報資源の収集・提供、情報基盤環境の拡充整備をすることを目的とする。



➤ 各センターの有機的連携による情報教育の支援を行う

## 各センターの有機的連携による情報教育の支援

- 安全に整備された情報基盤、ネットワークの下、確かな学術情報を提供し、それらを活用したデータサイエンス教育を実践する環境を整える。
- データサイエンス教育での演習や自習に図書館のラーニングコモンズ、環境・情報科学館、数理・データサイエンス館を活用する。
- データサイエンス教育を補完する電子コンテンツの提供
- 情報セキュリティ、情報倫理、信頼できるデータの収集、データリテラシーなど、情報に関わるリテラシー教育での協働

↓  
デジタル社会におけるリテラシーを備えた人材育成への貢献

# 数理・データサイエンス館 (CeMDS) Center for Mathematical and Data Science

CeMDSは、三重大大学のSociety5.0の実現に向けICT教育や数理・データサイエンス教育の発展に寄与し、また地域の関係機関や企業との教育研究拠点となり地域創生に貢献することを目的として2020年4月に開館しました。

## 【1階メイカーcommons】

サポートデスク：

本学の学生がICT機器に関することやレポート作成などの支援をしています。

メイカースペース：

3Dプリンタ、レーザーカッター、ミシン、ドローンなどが利用できます。

## 【2階データサイエンスcommons】

レクチャールーム：

講義や研究会などで活用できます。

文献検索コーナー：

本学が開催したフォーラム、講習会などをアーカイブし検索できる予定です。

## 【3階コラボレーションcommons】

スタジオ、数学何でも相談室、  
自然科学系技術部

